



宗像大社御用達 松島神輿製作所

宗像大社御用達 松島神輿製作所 京都府下京区北小路通新町西入...

晴天続きの三日間 出足好調、近年にない賑い

当社年間を通じて最大の祭、又伝統的「田島放生会」と呼ばれ...

伝統につちかわれた..... 爽秋の放生会



前日夕大馬に跨った小野雅司...

前日夕大馬に跨った小野雅司、中野宮の神輿を奉持して...

御礼

当社御祭に秋大祭まで、皆様の御配を添って、お慰め...

災害復興に三十万円

去る十月十八日夕刻、宗像郡安海町神湊の海岸旅館で火災、折か...

論説 花火の次に上がるもの

物議の相違が主因で敗北を喫した日本に、勝ち誇って進駐した...

阿蒙少言

第一回 宗像大社献詠歌会詠草 十月十一日 於中津宮社務所

阿蒙少言

一舞踊に列まじつと皮肉な提議も、またいた盛座...

すく向いの多乳山(丸やま)に建て直された。その前は、庭と併せられる田舎落だけ、秋晴れの日向が流れて、山の多乳山向い合つて、宗像國神社が立つた。参道の石段のあたりを近所の百姓たちが駆け廻っていた。お婆さん、今年も秋の収穫が豊かだった。お婆さん、今年も秋の収穫が豊かだった。お婆さん、今年も秋の収穫が豊かだった。お婆さん、今年も秋の収穫が豊かだった。

宗像 雲が流れる



日を通すことにはである。彼女は毎日國神社をおとすれ、お婆さんには三人の息子があつた。お婆さんには三人の息子があつた。お婆さんには三人の息子があつた。お婆さんには三人の息子があつた。

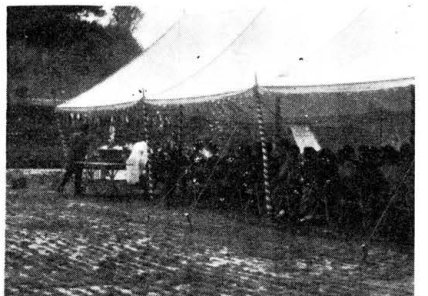
大島全村をあげての 沖・中両宮秋季大祭

十月十九・二十日の間、沖津宮と中津宮に於て行なわれ、十九日の宵祭には鳥かから参拝した約七十名の信者があり、同夜は鳥か参籠した。

内山福岡苗圃開園祭

去る十月三十日、筑紫野野町、内山緑地建設株式会社福岡苗圃開園式。直会は緑色の中で賑やかに終った。

宗像 十一月祭 大社 三日 文化祭 午前十一時 午後一時



秋晴れに恵まれて 表千家 献茶式賑わう。表千家の献茶式が賑やかに行なわれ、参拝者も大勢あつた。

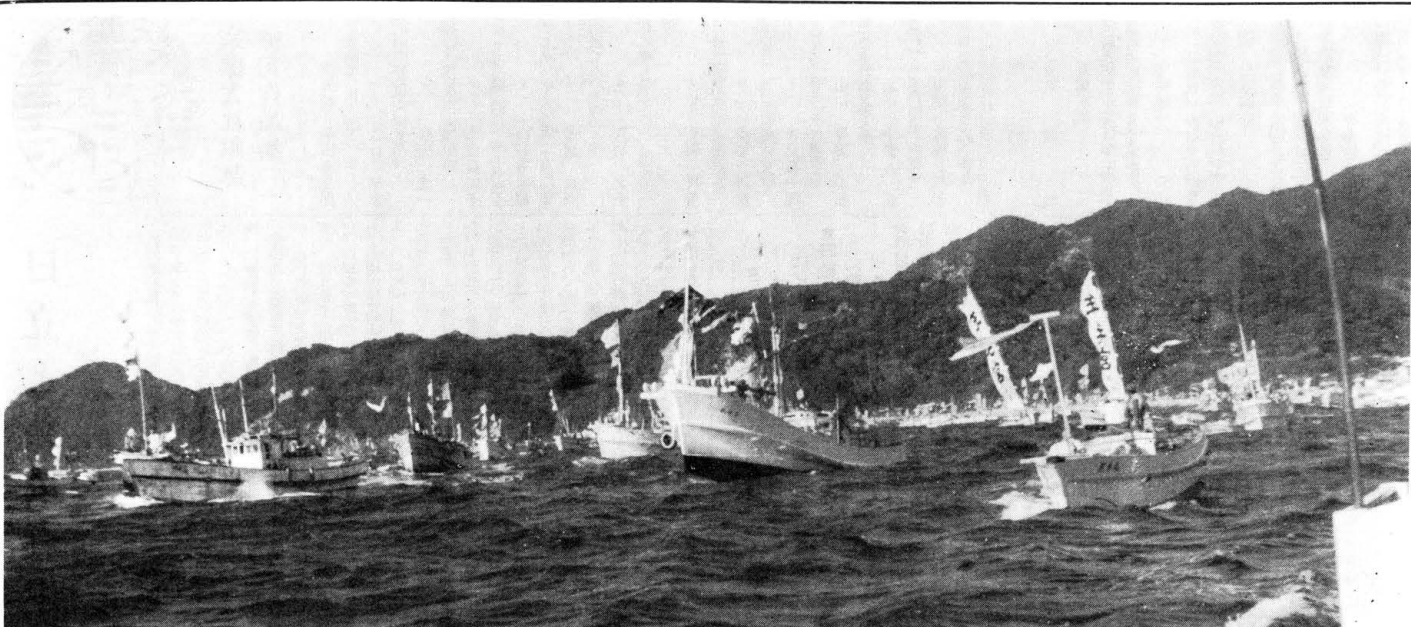


社務日誌抄 九月一八日 一切修繕の件で教育庁費費米米米。九月二〇日 親和会第一班出席方面。九月二二日 宗像國神社開園式。九月二四日 宗像國神社開園式。

落日 (一) 山門に追手の車が近づいたら。又も又の音が聞えた。山門をぬぎ、防矢矢矢。この所で殉難した者、防矢の矢守大内義隆、嫡男義隆、義隆は。近衛経國降臨、陶隆敏、真隆。佐藤隆、相見隆、平賀隆。大内義隆が家臣の麻生弥五郎を以て陶の謀殺を討つことを義隆に命じて書面を、義隆が内通していた陶に見せたことになり、大内義隆は陶の毒を。大内義隆は陶の毒を。大内義隆は陶の毒を。

大内義隆最後 一方、圭君を逃すべく仙崎の浜に馬を飛ばした。大内義隆は、そこへ飛んで来た。二四日 親和会第二班旅行。二五五 親和会第三班旅行。二九日 日商工務店社来社。九月五日 宗像國神社開園式。十月三日 宗像國神社開園式。

宗像大社御用 綜合印刷 大和印刷所 宗像郡宗像町東郷 電話東郷27番。宗像大社御用 綜合印刷 大和印刷所 宗像郡宗像町東郷 電話東郷27番。



紺碧の空にはためく御長手

宗 像 大 社 御 生 祭 齋 行

十月一日、大島港には早朝から満船の漁船が並び、話めかけたその数、二百五十余隻、これは宗像郡の七浦（大島、地ノ島、鐘崎、勝浦、津屋崎、福岡）の各漁港の漁船群である。大島の港内は正に万頭上りの盛況を呈立、空には一点の曇りも、立止りせらるること、村内までお見送りされた、目を凝らして見届した。村内の有線放送が御生祭の齋行の時、中津宮に於ける出帆祭を告げる花火が、たまたま、中津宮と中津宮の神聖宮が神聖の手に掛け持たれ、中津宮の石段を降りりになった。筈の覆い、布に金糸で刺繍された菊花の御紋が朝日に眩しく輝いた。つき従う海洋神社奉賛会の人等約百人、波止場迄約三百米の道は、敬虔な村人が押寄せ、御生祭の齋行を祝った。

御生祭は、中津宮は金比羅丸、中津宮は萬吉丸、共にこの大島の最新造船である、神聖が御座船に御座ると、すかさず大船出港の号砲一発、澄み切った秋空にとどろいた。

先導船を先頭に御座船続き、供養船が続いた。何れも本社より授けられた「根切御幣」を船首に、満船の大漁旗が風に鳴り、エンジンの音が空に響き渡って勇ましくと鳴り渡った。

大島と神像の間は海上約八キロ、これを左手の地ノ島側へ迂回したため、全行程は約十キロ、全船四ノットの速力に規制され、船舶間はゆくりと進む。東風が相当に強いので波が高い。しかし、女界麗い人等には全然問題にならない。三種進だとして、漸く船舶の最後尾が大島港を出た。横七列、縦各十五隻ずつの船隊が漸く形を整えて、出て来たわけである。横巾は、五〇〇米、縦深は約三、〇〇〇米にも及んだ。

最後尾には福岡海上保安部の巡視船「わかざり」も見える。折から上空に此の日の儀を撮影せんものと新聞社の飛行機が二機飛来、高空、中空、低空を約三十分、わたって飛び交い、時ならぬ海空一体の大パレードを繰りあげた。

御座船には海洋神社奉賛会会長である水島金作氏（宗像郡水産教育

会連合会長）や中津宮奉賛会会長である大島の初瀬十郎氏、そのほか宗像郡漁業組合連合会長の藤式次郎氏をはじめ、各漁協の組長、事務主任等が乗り組む、何れも船首に立って慈満たる表情、そのかまの宗像の水軍の威風凛々たるものである。

今日の記事は、郡外ではあるが宗像郡の相模の漁船が十隻まで、遠賀郡津波の漁船が十隻まで、この人等は中津宮の神聖の恵いによって生計を営んでいる、強い信仰を持っている、神事の盛大さは、この人々の信仰の強さを物語っている。云々と褒め交す。無論今日の参加者は、無難な奉仕である。信仰の愛を現出したい。神社は、この人の連の奉仕を金銭ではかるも、この毛頭持っていない。この間の奉仕の気持ち、一つになつて御生祭が立派に行われたのである。人々は酔った。船酔いしたのではない、神事に奉仕を満足感に酔った。神事は、御座船の約一時間の航海のうち、大島と地ノ島の沖合から鐘崎の岬を廻り、ゆくりと神像の方向を向き変えた。花火船から合同の一発が打ち上げられた。威風堂々大漁の船の旗が色とりとりに輝いた。

それに、船にも染まるかと思はれたので、排煙した人々の口から「あー」といふ声が出た。

御座船は、やがて神像の沖波止に着岸。神像を擁った神像が上陸。船首の両側に神像が上陸。船首の両側に神像が上陸。船首の両側に神像が上陸。

十時三十分、自動車連隊を編成して御座船、約五十台の自動車による神幸式を行った。神像より田島迄約八キロ、時速二十キロの低速で、ゆくりと神像を巡る。引続いで津波に於ける「放生会第一日祭」を齋行。おまけに、「三宮」の真姿を現し、たけあ。

一番氣遣われたのが天候であつた。放生会の明日は変更する訳には行かないので、関係者すべてが危惧したところであつた。ところが、天候は好天に恵まれた。これは一に神慮によるものであつた。御座船の神慮を拝謝す。

写真は今、中津宮神聖のお下り、於中津宮入り五段坂、大々的に報道された。

花いっぱい運動、表彰：1日午前10時、国鉄赤間駅。宗像町婦人会が花いっぱい運動にちなんで、花を贈り、花を贈り、花を贈り。

大島渡海船のダイヤ変更：1日から冬時間に変更。冬時間に変更。冬時間に変更。

福岡青年団産業界奉養：4日、福岡青年団産業界奉養。4日、福岡青年団産業界奉養。

宗像町産業界奉養大会：8日、宗像町産業界奉養大会。8日、宗像町産業界奉養大会。

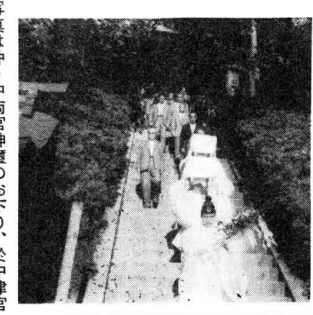
宗像町神聖の秋祭：8日午後8時、宗像町神聖の秋祭。8日午後8時、宗像町神聖の秋祭。

東郷郵便局の新築落成式：9日午前11時、東郷郵便局の新築落成式。9日午前11時、東郷郵便局の新築落成式。

地島小の運動会：9日午前9時、地島小の運動会。9日午前9時、地島小の運動会。

町村往来

宗像郡の町村往来に関する情報。包括町神聖の秋祭、宗像町産業界奉養大会、東郷郵便局の新築落成式、地島小の運動会、宗像町神聖のお下り、於中津宮入り五段坂、大々的に報道された。



新築完成

玄海の味・生魚料理。みなと荘。宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

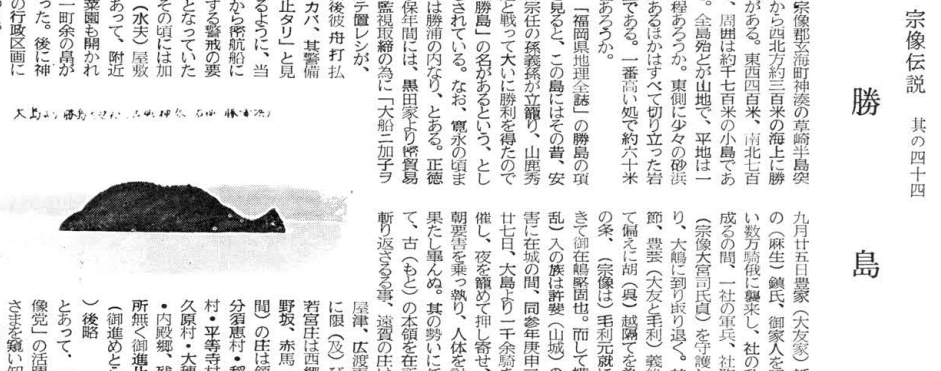
宗像郡玄海町神湊。電話 神湊 五六番。

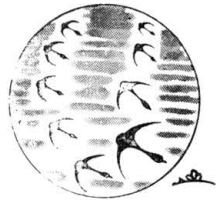
宗像伝説 其の四十四

宗像郡玄海町神湊の草部平島。平島は、東西四百米、南北七百米、周囲は約七百里の小島である。全島が玄海町の平地にあり、大島に於ける玄海町の平地とつながっている。玄海町の平地は、大島に於ける玄海町の平地とつながっている。玄海町の平地は、大島に於ける玄海町の平地とつながっている。

勝島

九月廿日、勝島。宗像郡玄海町神湊の草部平島。平島は、東西四百米、南北七百米、周囲は約七百里の小島である。全島が玄海町の平地にあり、大島に於ける玄海町の平地とつながっている。玄海町の平地は、大島に於ける玄海町の平地とつながっている。





宗像大社献詠

津屋崎 西任喜三郎
北雲橋を秋の海風に
吉野 幸志

秋燈の一角まゝい置かれ
勝田 光一
クローラス鉢移して登助手

毛利 夜潮
沖の秘話聞きつづきに無かな
去年の月今年も樹間の冷

神楽社頭西郷 石屋歩古藏
神楽社頭東郷 松尾昌華表

日立と共に五十年

倉田主税会長の半生記

仙居の足跡は再び変った。学生生活の中ははやくと...

占いのコーナー
11月8日・12月7日
★四緑木星の人

★五土星の人
★六金星の人
★七火星の人

★八土星の人
★九火星の人
★十金星の人

政治界特有の繁栄といやうな
この繁栄は主税の...

信長は刻々戦況を
「敵主力陣を乱す。敵は西...

信長は刻々戦況を
「敵主力陣を乱す。敵は西...

信長は刻々戦況を
「敵主力陣を乱す。敵は西...

四十一年がたししみ前山を願す
フルト「朝よりひく...

月三十日は、不出の大皇帝
かたは明治天皇が崩御せられ...

戦は次第に敵の陣形は
四五分裂となり、我が艦隊は...

出している状況、艦隊は
軍艦は次第に撃つ艦は赤赤...

要の飯を炊き
東郷 藤田 信子
若人は大地かきしめ瑠璃の秋を...

A「わははは年の間に
若く見えるよ、少くとも若く若く見え...

B「もう少し君は謙
虚な気持でいって
わしの方が若く見える...

A「おれは年を取ると
論議されては、時、K君が突然
口をきいた。



我楽苦告知板